



徳島県報

発行者 徳島県

発行所 徳島県企画総務部
法制監察課

定期第 8 2 9 号 令和 7 年 5 月 2 3 日発行

目 次

は県例規集登載

【告示】

番 号	表 題	担当課名
2 9 1	特定調達契約について随意契約の相手方を決定した件	知事戦略局
2 9 2	瀬戸内海環境保全特別措置法の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があった件	環境管理課
2 9 3	歳入の指定納付受託者の住所又は事務所の所在地の変更について届出があった件	産業創生・ 大学連携課
2 9 4	土地改良区の役員の退任及び就任について届出があった件	農山漁村振興課
2 9 5	同	同
2 9 6	同	同
2 9 7	道路の区域を変更する件	高規格道路課
2 9 8	同	同

【公告】

番 号	表 題	担当課名
	地方独立行政法人徳島県鳴門病院が実施する一般競争入札公告	医療政策課

【選挙管理委員会告示】

番 号	表 題	担当課名
2 9	政治資金規正法の規定に基づき届出のあった政治団体の名称等を公表する件	

【選挙管理委員会告示】

番 号	表 題	担当課名
3 0	政治資金規正法の規定に基づく政治団体の届出事項の異動の届出があった件	
3 1	政治資金規正法の規定に基づく政治団体の解散の届出があった件	
3 2	政治資金規正法の規定に基づく資金管理団体の届出事項の異動の届出があった件	
3 3	地方自治法の規定による条例の制定又は改廃の請求及び監査の請求をする場合の県議会議員及び知事の選挙権を有する者の5 0分の1の数を告示する件	
3 4	地方自治法の規定による県議会の解散の請求、知事の解職の請求及び主要公務員の解職の請求をする場合の県議会議員及び知事選挙権を有する者の総数のうち4 0万を超える数に6分の1を乗じて得た数と4 0万に3分の1を乗じて得た数とを合算して得た数を告示する件	
3 5	地方自治法の規定による県議会議員の解職の請求をする場合の吉野川選挙区における県議会議員の選挙権を有する者の3分の1の数を告示する件	
3 6	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定による県教育委員会の教育長又は委員の解職の請求をする場合の知事選挙権を有する者の総数のうち4 0万を超える数に6分の1を乗じて得た数と4 0万に3分の1を乗じて得た数とを合算して得た数を告示する件	

【公安委員会規則】

番 号	表 題	担当課名
8	放置車両の確認等に関する事務の委託を受ける法人及び駐車監視員に関する規則の一部を改正する規則	

【海区漁業調整委員会指示】

番 号	表 題	担当課名
3	漁業法の規定に基づき徳島県海域における せん漁業の操業について指示する件	
4	漁業法の規定に基づき徳島県海域における いせえびかご漁業及び類似漁業の操業の禁 止について指示する件	

徳島県告示第二百九十一号

徳島県の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規則（平成八年徳島県規則第二十二号）第一条に規定する特定調達契約について随意契約の相手方を決定したので、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成七年政令第三百七十二号）第十二条の規定により次のとおり公示する。

令和七年五月二十三日

徳島県知事 後藤田 正 純

- 一 契約に係る特定役務の名称及び数量
県広報番組「とくしまタイムズ」の制作・放送 五十本
- 二 契約に関する事務を担当する課等の名称及び所在地
徳島県知事直轄組織知事戦略局
徳島市万代町一丁目一番地
- 三 契約の相手方を決定した日
令和七年四月一日
- 四 契約の相手方の氏名及び住所
四国放送株式会社
徳島市中徳島町二丁目五番地二
- 五 契約金額
七十四万五千八百円（一本当たり）
- 六 契約の相手方を決定した手続
随意契約
- 七 随意契約による理由
地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令第十一条第一項第一号

徳島県告示第二百九十二号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和四十八年法律第百十号）第五条第一項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があつたので、同条第四項の規定により、その概要を次のとおり告示する。

なお、この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。

令和七年五月二十三日

徳島県知事 後藤田 正 純

一 申請の概要

1 申請者

名 称 日亜化学工業株式会社

住 所 阿南市上中町岡四九一番地一〇〇

代表者 代表取締役 小川裕義

2 工場又は事業場

名 称 日亜化学工業株式会社 本社

所在地 阿南市上中町岡四九一番地

3 特定施設の種類

水質汚濁防止法施行令（昭和四十六年政令第百八十八号）別表第一第六十五号に規定する酸又はアルカリによる表面処理施設

4 特定施設及び汚水等の処理に関する事項

二の縦覧の期間及び場所において、関係書類を備え置いて縦覧に供するとともに、徳島県生活環境部環境管理課ホームページにおいて公表する。

二 縦覧の期間及び場所

1 期間

令和七年五月二十三日から

令和七年六月十三日まで

2 場所

徳島県生活環境部環境管理課及び阿南市市民部環境保全課

徳島県告示第二百九十三号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百三十一条の二の三第三項の規定により、ふるさと納税拡大戦略推進事業に係る寄附金の指定納付受託者の住所又は事務所の所在地の変更について届出があったので、同条第四項の規定により告示する。

令和七年五月二十三日

徳島県知事 後藤田 正 純

名称	住所又は事務所の所在地		変更年月日
	変更前	変更後	
株式会社アイモバイル	東京都渋谷区桜丘町 二二番一四N・E・ S・ビルN棟二階	東京都渋谷区渋谷三 丁目二六番二〇号関 電不動産渋谷ビル八 階	令和六年七月十七日

徳島県告示第二百九十四号

土地改良法（昭和二十四年法律第百九十五号）第十八条第十八項の規定に基づき、土地改良区の役員の退任及び就任について届出があったので、同条第十九項の規定により次のとおり公告する。

令和七年五月二十三日

徳島県知事 後藤田 正 純

一 土地改良区の名称

北井上土地改良区

二 退任役員及び就任役員

役員名	退任役員氏名	就任役員氏名	住 所
理 事	阿 部 忠 浩		徳島市国府町芝原字南芝原五七
同	朝 田 三 郎	朝 田 三 郎	字神楽免七二 一 二一
同	政 岡 茂	政 岡 茂	東黒田字高岸一八
同	庄 野 彰 一	庄 野 彰 一	字朝日一八八
同	小 林 照 幸	小 林 照 幸	西黒田字西傍示二〇三
同	山 下 敏 生		芝原字天満五二 二
同	片 岡 博 昭		西黒田字東傍示七九 三
同	宮 本 晃	宮 本 晃	芝原字宮ノ本二三
同	斉 藤 新 司	斉 藤 新 司	西黒田字東傍示一 一七一
同	井 若 君 江	井 若 君 江	芝原字野神九 一 四
同	宮 田 永 二	宮 田 永 二	字神楽免一二〇 三
同	前 川 俊 弘		字南芝原七四
同	豊 田 博 一	豊 田 博 一	東黒田字朝日六九
同	齋 藤 実 徳	齋 藤 実 徳	五三 二
同	安 村 元 成	安 村 元 成	一〇四
同	七 條 晃		字桜ノ本九八
同	熊 川 重 樹	熊 川 重 樹	芝原字東分一五七 八
同	伊 川 幸 治	伊 川 幸 治	字野神一二九 一
同	山 本 良 博	山 本 良 博	東黒田字朝日一五五 一
同	梶 原 隆 幸	梶 原 隆 幸	芝原字神楽免五三
同	川 野 和 敏		東黒田字角ノ瀬九五
同		前 川 久	芝原字寺地二二
同		小 川 敏 夫	一宮町片山一三 一七
同		眞 開 和 之	国府町西黒田字東傍示一五九
同		阿 部 好 幸	芝原字南芝原一 一六
同		岩 井 良	東黒田字桜ノ本二四
同		東 條 昭 治	字宮ノ北二二四
同	橋 本 勝	橋 本 勝	字榎島九三
同	井 上 隆 夫	井 上 隆 夫	西黒田字南傍示二二六
同	七 條 哲 也	七 條 哲 也	東黒田字桜ノ本八

同	同	同
篠原文彦	伊川美幸	木内富美子
篠原文彦	伊川美幸	木内富美子
同	同	同
西黒田字南傍示二六三八	字神楽免一五一三	芝原字東分一四

徳島県告示第二百九十五号

土地改良法（昭和二十四年法律第百九十五号）第十八条第十八項の規定に基づき、土地改良区の役員の退任及び就任について届出があったので、同条第十九項の規定により次のとおり公告する。

令和七年五月二十三日

徳島県知事 後藤 田 正 純

一 土地改良区の名称

今津南部土地改良区

二 退任役員及び就任役員

役員名	退任役員氏名	就任役員氏名	住 所
理 事	松 本 哲 男		阿南市那賀川町手島辰ケ池二三 一
同	尾 崎 孝 治	尾 崎 孝 治	長宝地九
同	杉 本 芳 彦	杉 本 芳 彦	五三 一
同	西 野 徹	西 野 徹	苅屋二七
同	吉 川 博 文		手島中湯七九
同	金 本 正 雄		八幡石塚一一 三
同	篠 原 光 博	篠 原 光 博	手島中塚一五 一
同	島 谷 喜 久 雄	島 谷 喜 久 雄	今津浦免許七
同	坪 井 洋 幸	坪 井 洋 幸	古津二二六
同		楠 木 美 智 子	手島辰ケ池三八
同		吉 田 豊 秋	八幡中塚一一
同		濱 田 明 子	手島三反地五
監 事	向 井 稔		榎瀬五三
同		伊 勢 芳 史	中湯一二
同	佐 藤 賢 治	佐 藤 賢 治	色ケ島網干七九

徳島県告示第二百九十六号

土地改良法（昭和二十四年法律第百九十五号）第十八条第十八項の規定に基づき、土地改良区の役員の退任及び就任について届出があったので、同条第十九項の規定により次のとおり公告する。

令和七年五月二十三日

徳島県知事 後藤田 正 純

一 土地改良区の名称

太田川土地改良区

二 退任役員及び就任役員

役員名	退任役員氏名	就任役員氏名	住 所
理 事	杉 野 利 男		阿南市那賀川町江野島六一三一
同		大 西 利 明	同 一三三
同		手 塚 秀 樹	同 五〇四
同		小 川 恒 晴	同 島尻一〇〇八
同		笠 原 光 男	小松島市坂野町字岡ノ下一八

徳島県告示第二百九十七号

道路法（昭和二十七年法律第八十号）第十八条第一項の規定に基づき、道路の区域を次のように変更する。

その関係図面は、徳島県西部総合県民局美馬庁舎において、令和七年五月二十三日から二週間一般の縦覧に供する。

令和七年五月二十三日

徳島県知事 後藤 田 正 純

道路の種類 一般国道

路線名		区間		新旧の別	敷地の幅員 (メートル)	延長 (メートル)
四九二号	同	美馬市木屋平字川井六六九番地 先から		旧	三・五〇・一三・六	六四二・二
	同	六六番三地			一〇・六〇・四五・七	七四〇・〇
	先まで				一〇・六〇・四五・七	七四〇・〇

徳島県告示第二百九十八号

道路法（昭和二十七年法律第八十号）第十八条第一項の規定に基づき、道路の区域を次のように変更する。

その関係図面は、徳島県南部総合県民局阿南庁舎において、令和七年五月二十三日から二週間一般の縦覧に供する。

令和七年五月二十三日

徳島県知事 後藤 田 正 純

道路の種類 県道

整理番号		路線名	区間		新旧の別	敷地の幅員 (メートル)	延長 (メートル)
2 4		羽ノ浦福井	同	阿南市新野町藤谷八一番 四地先から 同 八五番 五地先まで	旧	一〇・三丁四〇・三	四九・一
					新	一〇・三丁二二・八	四九・一

公 告

地方独立行政法人徳島県鳴門病院から依頼があつたので、次のとおり公告する。
令和七年五月二十三日

徳島県知事 後 藤 田 正 純

「徳島県鳴門病院医療事務等業務委託契約」について次のとおり総合評価一般競争入札に付するので、地方独立行政法人徳島県鳴門病院物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規程により、次のとおり公告する。

令和七年五月二十三日

地方独立行政法人徳島県鳴門病院

理事長 住 友 正 幸

一 入札に付する事項

- 1 調達をする役務の名称
徳島県鳴門病院医療事務等業務委託契約
- 2 調達する役務の仕様等
徳島県鳴門病院医療事務等業務委託契約仕様書等による。
- 3 契約期間
令和七年十月一日から令和十一年九月三十日
- 4 調達する役務の場所
地方独立行政法人徳島県鳴門病院（健康管理センター含む）
徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷三二番

二 入札に参加する者に必要な資格

- 1 物品の購入等の契約に係る一般競争入札及び指名競争入札参加資格審査要綱（昭和五十六年徳島県告示第二十六号）第四条第一項の規定による審査により資格を有すると認められた者又は地方独立行政法人徳島県鳴門病院会計規程実施規程（契約関係）（以下「会計規程実施規程」という。）第七条第二項の規定により新たに資格審査を受けて参加が認められた者であること。
- 2 会計規程実施規程第八条の規定に該当しない者であること。
- 3 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第二条第二号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）若しくは暴力団員（同条第六号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）に該当すると認められる者又は暴力団員若しくは暴力団員と密接な関係を有する者と認められる者でないこと。
- 4 一般病床二百床以上の医療機関において、過去五年間に、三年以上継続して外来及び入院（DPC）会計請求事務を含む医事業務受託の実績を有する者であること。
- 5 入札参加資格確認申請書及び同申請書に定めのある添付書類及び提案書を提出期限までに提出し、審査の結果「適合」と認められた者であること。

三 入札参加手続等について

- 1 入札に参加を希望する者は、2の(一)により書類の交付を受け、3の(一)に掲げる書類を提出し、本院の入札参加資格の確認を受けなければならない。
- なお、提出期限までに関係書類を提出しない者又は入札参加資格がないと認められ

た者は、本入札に参加することが出来ない。

2 入札の参加に関する関係書類、仕様書の交付

(一) 交付場所

郵便番号 七七二 八五〇三

所在地 徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷三二番

所属名 地方独立行政法人徳島県鳴門病院 医事企画課

電話番号 〇八八 六八三 〇〇一一

ファクシミリ番号 〇八八 六八三 一八六〇

電子メールアドレス ij@naruto-hsp.jp

(二) 交付期間

令和七年五月二十三日（金曜日）から令和七年六月五日（木曜日）までの土日及び祝日を除く午前九時から午後四時まで

3 入札参加資格確認申請書、提案書の提出

(一) 入札に参加する者は、入札参加資格確認申請書及び同申請書に定めのある添付書類を提出しなければならない。

(二) 入札参加資格確認申請書及び添付書類の提出は、書面（紙媒体）に限るものとし、令和七年六月五日（木曜日）から令和七年六月十六日（月曜日）の間に持参又は郵送により提出するものとする。

なお、入札参加資格の審査の結果については、令和七年六月二十三日（月曜日）までに通知する。

(三) 提案書の提出期限は、令和七年六月十六日（月曜日）午後五時必着とする。

四 問合わせ等について

1 問合わせ先

徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷三二番

地方独立行政法人徳島県鳴門病院 医事企画課

電話番号 〇八八 六八三 〇〇一一

ファクシミリ番号 〇八八 六八三 一八六〇

電子メールアドレス ij@naruto-hsp.jp

2 問合せの方法及び受付期間

問合せについては、ファクシミリ又は電子メールによるものとする。なお、期間については令和七年五月二十三日（金曜日）から令和七年六月五日（木曜日）までとする。これ以降の問合わせについては回答できない場合がある。

五 入札手続等について

本件は、総合評価一般競争入札であることから、「徳島県鳴門病院医療事務等業務委託業者選定委員会」が決定する評価基準に基づき、各入札参加者からのプレゼンテーションを実施し総合評価を行う。

また、入札及び開札執行は、それぞれの入札参加者からのプレゼンテーション前に行う。

入札書の提出方法は、直接持参又は郵送とし、郵送の場合は封筒の表に朱書きで「徳島県鳴門病院医療事務等業務委託の入札書在中」と記載し、令和七年六月二十七日（金

曜日)午後五時までに四1へ必着のこと。

1 入札及び開札並びにプレゼンテーションの日時

(一) 日時

令和七年七月二日(水曜日)午後一時十五分から、各入札参加者三十分程度の範囲内においてプレゼンテーションを行う。

(二) 場所

徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷三二番

地方独立行政法人徳島県鳴門病院三階大会議室

(三) 提出書類

ア 入札書

入札書の金額欄には、履行期間の総額四十八か月均等払いの月額を記載すること。(消費税及び地方消費税を除く。)

イ 別に本院が指定する提出書類

2 入札の方法等

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の百分の十に相当する金額を加算した金額(当該金額に一円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った契約希望金額の百分の百に相当する金額を入札書に記載すること。

3 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

4 入札保証金及び契約保証金

免除

5 入札の無効

次の各号のいずれかに該当する入札は無効とする。

(一) 二に規定する入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札

(二) 指定した日時までに指定した場所に到達しない入札又は郵便入札の場合であつて封書の表面に「徳島県鳴門病院医療事務等業務委託の入札書在中」の旨の朱書がないため、入札書であることが確認できなかった入札

(三) 記名押印のない入札

(四) 入札事項を表示せず、若しくはその記載事項が不明確であり、又は一定の金額をもって価格を表示しない入札

例

ア 鉛筆、その他容易に改ざんできる筆記具で作成したもの

イ 金額をアラビア数字以外で記載し、又は訂正したもの

ウ 「入札物件」で物品の名称及び数量(数量については、特に指定した場合を除く。)の記載のないもの又は記載を誤ったもの

エ 「住所及び氏名」の記載を誤ったもの

オ 印鑑の使用を誤ったもの

(五) 同一事項に対してした二通以上の入札

- (六) 他人の代理人を兼ね、又は二人以上の代理をした者の入札
 - (七) 委任状を持参しない代理人がした入札
 - (八) 前各号に掲げるもののほか、入札に関する条件に違反した入札
- 6 入札又は開札の中止
天災その他やむを得ない理由により、入札又は開札を行うことができないときは、これを中止する。この中止による損害は、入札者の負担とする。
- 7 落札の無効
落札者は、原則として落札決定の通知を受けた日から起算して五日以内に当院が指定する契約書により契約を締結しなければ、その者の落札は効力を失うものとする。
- 8 落札者の決定方法
予定価格の制限の範囲内で有効な入札を行った者の中から「徳島県鳴門病院医療事務等業務委託業者選定委員会」が、評価基準に基づき、審査の上、決定する。
なお、当評価基準等の詳細については入札説明書等の記載のとおりとする。
- 9 契約書作成の要否
要。
- 10 その他
詳細は、入札説明書等による。

六 Summary

- 1 Nature and quantity of the products to be purchased
Tokushima Naruto hospital medical office work consignment
- 2 Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification
5:00 p.m., June 16, 2025
- 3 Date of Tender
1:15 p.m., July 2, 2025
(By mail, tenders must be submitted by 5:00 p.m., June 27, 2025)
- 4 Contact point for the notice
Tokushima Prefecture Naruto Hospital
32 Kotani, Kurosaki, Muya-cho, Naruto City, Tokushima Prefecture
Phone: 088-683-0011

徳島県選挙管理委員会告示第二十九号

政治資金規正法（昭和二十三年法律第百九十四号）第六条第一項の規定に基づく政治団体の届出があつたので、同法第七条の二第一項の規定により、その名称等を次のとおり告示する。

令和七年五月二十三日

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 丸 正 史

その他の政治団体（政党及び政治資金団体以外の政治団体）
国会議員関係政治団体以外の政治団体

政治団体の名称	代表者の氏名	会計責任者の氏名	主たる事務所の所在地	届出年月日
富士雅章後援会	川田修	吉田正則	板野郡松茂町中喜来字群恵 二〇九番地一	令和七年 四月十八日

徳島県選挙管理委員会告示第三十号

政治資金規正法（昭和二十三年法律第百九十四号）第七条第一項の規定に基づく政治団体の届出事項の異動の届出があったので、同法第七条の二第一項の規定により、次のとおり告示する。

令和七年五月二十三日

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 丸 正 史

一 政党の支部

政治団体の名称		代表者の氏名		異動事項	
立憲民主党徳島県 総支部連合会	吉川 沙織	代表者の氏名	吉川 沙織	新	異動の内容
自由民主党徳島県 医療会支部	齋藤 義郎	会計責任者の 氏名	本藤 秀樹	旧	異動年月日
			今井 義禮		令和七年 四月六日
			矢部 裕二		令和六年 五月三十日

二 その他の政治団体（政党及び政治資金団体以外の政治団体）

政治団体の名称		代表者の氏名		異動事項	
政治をつなぐ女性の会	高橋 玉美	代表者の氏名	高橋 玉美	新	異動の内容
徳島県医師連盟	齋藤 義郎	会計責任者の 氏名	本藤 秀樹	旧	異動年月日
			今井 義禮		令和七年 三月三十一日
			矢部 裕二		令和六年 五月三十日

徳島県支部				日本薬業政治連盟	
矢部裕二					
所在地		主たる事務所の	氏名	会計責任者の	
二二四・二九		徳島市川内町平石夷野		大上雅史	
四六三・二三		徳島市川内町加賀須野		木村啓司	
				令和七年四月十六日	

徳島県選挙管理委員会告示第三十一号
政治資金規正法（昭和二十三年法律第百九十四号）第十七条第一項の規定に基づく政治団体の解散の届出があったので、同条第三項の規定により、次のとおり告示する。
令和七年五月二十三日

その他の政治団体（政党及び政治資金団体以外の政治団体）

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 丸 正 史

政治団体の名称			代表者の氏名	解散年月日
丸	若	祐 二 後 援 会	丸 若 祐 二	令和七年三月三十一日

徳島県選挙管理委員会告示第三十二号
政治資金規正法（昭和二十三年法律第百九十四号）第十九条第三項第二号の規定に基づく資金管理団体の届出事項の異動の届出があったので、同法第十九条の二第一項の規定により、次のとおり告示する。
令和七年五月二十三日

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 丸 正 史

資金管理団体の届出をした者の氏名	資金管理団体の名称	異動事項		異動年月日
高橋 玉 美	政治をつなぐ女性の会	代表者の氏名	高橋 玉 美	新
			高橋 た ま み	旧
		令和七年三月三十一日		

徳島県選挙管理委員会告示第三十二号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第七十四条第一項の規定による条例の制定又は改廃の請求及び同法第七十五条第一項の規定による監査の請求をする場合の県議会議員及び知事の選挙権を有する者の五十分の一の数は、次のとおりである。

令和七年五月二十三日

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 丸 正 史

一一、九八一人

徳島県選挙管理委員会告示第三十四号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第七十六条第一項の規定による県議会の解散の請求、同法第八十一条第一項の規定による知事の解職の請求及び同法第八十六条第一項の規定による主要公務員の解職の請求をする場合の県議会議員及び知事の選挙権を有する者の総数のうち四十万を超える数に六分の一を乗じて得た数と四十万に三分の一を乗じて得た数とを合算して得た数は、次のとおりである。

令和七年五月二十三日

徳島県選挙管理委員会委員長

岩 丸 正 史

一六六、五〇一人

徳島県選挙管理委員会告示第三十五号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第八十条第一項の規定による県議会議員の解職の請求をする場合の吉野川選挙区における県議会議員の選挙権を有する者の三分の一の数は、次のとおりである。

令和七年五月二十三日

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 丸 正 史

選挙区名	数
吉野川	一〇、八四三人

徳島県選挙管理委員会告示第二十六号

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第八条第一項の規定による県教育委員会の教育長又は委員の解職の請求をする場合の知事の選挙権を有する者の総数のうち四十万を超える数に六分の一を乗じて得た数と四十万に三分の一を乗じて得た数とを合算して得た数は、次のとおりである。

令和七年五月二十三日

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 正 史

一六六、五〇一人

徳島県公安委員会規則第 8 号

放置車両の確認等に関する事務の委託を受ける法人及び駐車監視員に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。

令和 7 年 5 月 23 日

徳島県公安委員会委員長 岡 田 好 史

放置車両の確認等に関する事務の委託を受ける法人及び駐車監視員に関する規則の一部を改正する規則

放置車両の確認等に関する事務の委託を受ける法人及び駐車監視員に関する規則（平成 17 年徳島県公安委員会規則第 9 号）の一部を次のように改正する。

別記様式第 3 号，別記様式第 9 号（裏）及び別記様式第 16 号中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

附 則

この規則は，令和 7 年 6 月 1 日から施行する。

徳島海区漁業調整委員会指示第三号

漁業法（昭和二十四年法律第二百六十七号）第二百一十条第一項の規定に基づき、徳島県海域におけるせん漁業（たこつば漁業並びにいせえびかご漁業及びその類似漁業を除く。）の操業について、次のとおり指示する。ただし、漁業権又は入漁権に基づいて操業する場合は、この限りではない。

令和七年五月二十三日

徳島海区漁業調整委員会会長 今 治 清 孝

（操業禁止区域）

第一条 次に掲げる区域以外の区域においては、せん漁業を営んではならない。

一 次のア及びイを結んだ直線と最大高潮時海岸線とによつて囲まれた海域のうち徳島県海域

ア 北緯三十四度十四分十五秒東経百三十四度三十四分十五秒の点（徳島県鳴門市黒岩突端）

イ 香川県東かがわ市翼山頂上

二 次のア、イ及びウを順次に結んだ二直線とエ、オ、カ及びキを順次に結んだ三直線並びに最大高潮時海岸線とによつて囲まれた海域のうち徳島県海域

ア 兵庫県南あわじ市丸山埼西端

イ 徳島県鳴門市瀬方鼻突端

ウ 北緯三十四度十四分十五秒東経百三十四度三十四分十五秒の点（徳島県鳴門市黒岩突端）

エ 兵庫県南あわじ市釣島鼻突端

オ エと徳島県鳴門市中瀬灯標中心点とを結んだ直線とカと鳴門海峡中瀬高ばえ東端とを結んだ直線との交点

カ キと兵庫県南あわじ市潮崎突端とを結んだ直線上キから千メートルの点

キ 徳島県鳴門市大磯埼東端

三 次のア、イ、ウ及びエを順次に結んだ三直線と最大高潮時海岸線とによつて囲まれた海域

ア 徳島県鳴門市大磯埼東端

イ アと兵庫県南あわじ市潮崎突端とを結んだ直線上アから千メートルの点

ウ 徳島県小松島市根井鼻東端

エ 徳島県小松島市徳島小松島港中防波堤（通称一文字）北端

四 次のア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ及びクを順次に結んだ七直線とケ、コ及びサを順次に結んだ二直線並びに最大高潮時海岸線とによつて囲まれた海域

ア 徳島県小松島市徳島小松島港中防波堤（通称一文字）南端

イ アと徳島県小松島市旧和田島飛行場突堤突端とを結んだ直線上同突堤突端から五百メートルの点

ウ 徳島県小松島市立江川河口左岸東南端とイとを結んだ延長線と徳島県徳島市徳島小松島港津田外防波堤東端とエとを結んだ直線との交点

エ 徳島県阿南市三ツ石頂上

オ エと徳島県阿南市舟磯灯標中心点とを結んだ直線と同市燕礁頂上とカとを結んだ

直線との交点

カ 徳島県阿南市裸島頂上

キ カと徳島県阿南市燧崎突端とを結んだ直線と同市野々島東端とクとを結んだ直線との交点

ク 徳島県阿南市舞子島通称中崎ノ鼻突端

ケ 徳島県阿南市舞子島マツガシノ鼻突端

コ ケと徳島県阿南市一ツ目頂上とを結んだ直線とサと和歌山県日高郡美浜町日ノ御埼灯台中心点とを結んだ直線との交点

サ 徳島県阿南市蒲生田岬灯台中心点

五 徳島県阿南市伊島、前島及び棚子島の周辺最大高潮時海岸線から三千メートルの距離の線以内の海域

六 徳島海区のうち、徳島県蒲生田岬と和歌山県日の御埼とを結ぶ直線以南の海域（以下「紀伊水道沖合海域」という。）の水深三百メートル以浅の海域

（操業制限区域）

第二条 前条の操業禁止区域以外の区域のうち、区画若しくは共同漁業権の漁場区域内においてはその漁業権者の同意を得ずにせん漁業を営んではならない。

（届出等）

第三条 第一条に規定する操業禁止区域以外でせん漁業を営もうとする者は、次に掲げる海域ごと及び船舶ごとに、第二項に定める書類を添えて、操業開始予定日の三日前までに、その所属する漁業協同組合を経由して、徳島海区漁業調整委員会に届け出なければならない。ただし、前条の操業制限区域において、漁業権者の同意を得て、せん漁業を営む者についてはこの限りでない。

一 播磨灘海域（徳島県孫崎と兵庫県門崎とを結ぶ直線以北の海域）

二 紀伊水道海域（徳島県孫崎と兵庫県門崎とを結ぶ直線以南で徳島県蒲生田岬と和歌山県日の御埼とを結ぶ直線以北の海域）

三 紀伊水道沖合海域

2 届出の際には次の書類を提出するものとする。

一 届出書（様式は別に定める。）

二 届出をする者の所属する漁業協同組合の長の副申書（様式は別に定める。）

三 使用する船舶の漁船登録票の写し

3 徳島海区漁業調整委員長は、第一項の規定による届出をした者に対して、別に定める様式の届出済証を交付する。

4 第一項の規定による届出をした者は、操業に際し、前項の届出済証を携帯するとともに、別に定める様式の標識を船体両側面の見やすい箇所に表示し、漁具の浮標に氏名及び所属する漁業協同組合の名称を記載しなければならない。

（指示の有効期間）

第四条 この指示の有効期間は、令和七年六月一日から令和八年五月三十一日までとする。

（雑則）

第五条 この指示に定めるもののほか、この指示の施行に関し必要な事項は、徳島海区漁

業調整委員会が別に定める。

(R7.5.23 委員会指示第 3 号第 3 条第 2 項第 1 号の様式)

せん 漁 業 操 業 届 出 書

令和 年 月 日

徳島海区漁業調整委員長 殿

住所
氏名

下記によりせん漁業を操業いたしますので、関係書類を添えて提出します。
なお、操業にあたっては他漁業との間で問題が発生しないように努めます。

記

1 使用する船舶

- (1) 漁船登録番号
- (2) 船 名
- (3) 船舶総トン数

2 操業海域

3 操業予定期間

令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

4 漁業根拠地

(R7.5.23 委員会指示第 3 号第 3 条第 2 項第 2 号の様式)
副 申 書

令和 年 月 日

徳島海区漁業調整委員会長 殿

住所
漁業協同組合
代表理事組合長 印

このたび本漁業協同組合所属の下記の 名が、せん漁業の操業を行うにあたって、他
漁業との間で問題が発生しないように指導いたしますので、よろしくお願いします。

氏名	住所	船名	漁船登録番号	トン数

(R7.5.23 委員会指示第 3 号第 3 条第 3 項の様式)

証第 号

せん漁業届出済証

住所
氏名

- 1 使用する船舶
 - (1) 漁船登録番号
 - (2) 船名
 - (3) 船舶総トン数
- 2 操業海域
- 3 操業期間
- 4 漁業根拠地

年 月 日付で上記の内容を含む届出があったことを証明する。

年 月 日

徳島海区漁業調整委員会長



(R7.5.23 委員会指示第 3 号第 3 条第 4 項の様式)

届出によって操業する場合に掲げる標識は次のとおりとする。

徳島せん証第 号

(たて 1 0 c m、よこ 5 0 c m以上)

徳島せん 証第 号

(たて 2 0 c m、よこ 3 0 c m以上)

徳島海区漁業調整委員会指示第四号

漁業法（昭和二十四年法律第二百六十七号）第二百一十条第一項の規定に基づき、次のとおり指示する。

令和七年五月二十三日

徳島海区漁業調整委員会会長 今 治 清 孝

（操業の禁止）

第一条 徳島県海域においては「いせえびかご漁業及び類似漁業」は営んではならない。

（指示の有効期間）

第二条 この指示の有効期間は、令和七年六月一日から令和八年五月三十一日までとする。